

会 議 記 録 簿

件 名	恵庭市生涯学習推進協議会（令和２年度第１回）		
日 時	令和２年７月３０日（木） １３：００～１５：４０	会 場	市民会館中ホール
出席者	【協議会委員】 松田委員 太田委員 松井委員 三科委員 高橋委員 井上委員 加藤委員 結城委員 塩野委員 相馬委員 池川委員 大嶋委員 岡委員 向井委員 水野委員 茶園委員 【教育委員会】 教育長 竹内部長 大嶋次長 社会教育課：渡部課長 佐々木主査 吉川主査 桑原主査 中村主任主事 【評価事業担当職員】 ７名（社会教育課３名含む）	人 数	委員 16 名 市教委 8 名 評価事業担当職員 7 名（社会教育課 3 名含む）
概 要			
1. 開会 2. 挨拶 恵庭市教育委員会 教育長 穂積邦彦 3. 委嘱状交付 4. 事務局紹介 5. 会長選出、副会長指名 会長に松田委員、副会長に太田委員が選出された。 6. 令和元年度「かつてに表彰」表彰式 「恵庭マンドリンいちいの会」、「郷土資料館ボランティアの会」、「生涯学習施設かしわのもり『緑のカフェ』」の３団体に表彰を実施。個人受賞の鈴木氏、三好氏については、欠席のため、後日会長より表彰状を授与する。 7. 【議題】第４期恵庭市生涯学習基本計画の推進について （１）第４期恵庭市生涯学習基本計画の概要説明 ～事務局より、第４期基本計画（概要版）を元に概要説明～ （２）令和２年度取り組み計画の推進について ～事務局より、資料を基に説明～ （３）今後のスケジュールについて ～事務局より、資料を基に説明～ （４）令和２年度評価担当事業について ～事務局より、資料を基に説明～ （事務局） 新型コロナウイルスの影響により評価事業の中止が相次ぎ、評価事業が減ったため、今年度は、１事業２名を基本とし、１名１事業ずつの評価とさせていただいた。			

ご了承ください。

- (5) 令和2年度評価担当事業における行政担当者と評価委員顔合わせ
～各担当職員が評価担当委員に事業概要を説明～

8. 【議題】第5期恵庭市生涯学習基本計画の策定について

- (1) 第5期恵庭市生涯学習基本計画の策定体制及びスケジュール

～事務局より、資料を基に説明～

(事務局)

策定体制については、生涯学習推進協議会と市職員による生涯学習推進会議で協議・策定しているが、会議の間の細かな調整や検討等を少人数の調整会議で調整の上進めていくこととしたい。構成員は、松田会長、太田副会長、井上委員、茶園委員、事務局としたい。

(委員一同)

異議なし

- (2) 第4期恵庭市生涯学習基本計画の評価状況

～事務局より、資料を基に説明～

(A委員)

第4期基本計画の評価については、これをもって終わるという考えか。昨年度も意見を述べたが、事業評価を行うことで個別の評価をしているが、恵庭市の生涯学習全体を見ることができていないと思う。

第4期の基本理念と基本目標についてどう推進してきたか、検証と委員の意見を集約する必要があると思う。

(事務局)

今回、評価点をまとめた資料、アンケート結果を配布し初めて見ていただいている。内容をご確認いただき、次回以降の協議会でご意見をいただくこととしたい。

(B委員)

委員の役割として事業評価を行っているが、あまり良くないと思う事業について、事業をやめるという判断まで求められているのか。

(事務局)

この事業評価は、市の各事業に生涯学習の観点から評価・意見交換を行い、改善点を反映することで、恵庭市の生涯学習を推進していくという手法であり、事業仕分けのような役割ではない。

(C委員)

第4期計画の評価について、全体的な議論がなされていない。各委員の意見を出し合い評価して行くことが必要。

生涯学習計画は、地方創生や総合計画等の地域が生き残るためのまちづくり計画と対になる計画だと思う。生涯学習の観点がないと、コミュニティや市民の活動がなくなって、まちは生き残ったが中身がないようなことになることも考えられる。原点に立ち返り、様々な立場で来ている委員から、それぞれ持っているものを語り合える場を作った方が良い。これは自治の基本の考えである。

また、新型コロナウイルスの感染拡大により、今まで通りの取り組みを続けることはできないのではないかと危機感を持っている。これからニューノーマルを作っていくことになるのではないかと思います。

(D委員)

今回、評価事業の担当を振り分けられ提示されているが、評価事業を選ぶこともで

きるようになっていたと思う。今後はどうなるか。

(事務局)

今回は、新型コロナウイルスの影響で評価事業が限られたこともあり、事務局で振り分けさせてもらった。昨年度と同様に担当以外の事業を評価していただくこともできる。来年度以降については、評価の在り方を含め第5期計画策定の中で検討していくことになる。

(E委員)

生涯学習とは何かという意見が、これまでも継続的に出ていた。ワークショップで意見を出し合っていくべき。

(3) 令和元年度生涯学習推進協議会委員自主研修会の振り返り

～事務局より、資料を元に説明～

(4) ワークショップ

(事務局)

テーマを「恵庭の学習環境と求められる学習」として、第5期計画の基本理念と基本目標につなげていく予定としていたが、委員の皆様から、第4期計画全体の評価を深めるべきというご意見があった。今回は取りやめ、次回の会議で第4期計画の評価を含んだワークショップを行う選択もできる。委員の皆様のご意見をいただきたい。

(F委員)

今回の会議は内容が多岐に渡り、時間と体力を消耗している部分があり、活発な議論ができる環境ではない。次回リフレッシュした状態で、ワークショップを行った方が良いと思う。

(E委員)

新型コロナウイルス対策としても、時間を短縮した方が良い。次回改めてワークショップを行って欲しい。

(事務局)

両委員から提案があったことから、ワークショップは次回改めて行うこととした。

(委員一同)

異議なし

9. その他

(事務局)

次回の日程について、8月26日(水)を予定している。改めてご案内する。

10. 閉会



委嘱状交付



「かつてに表彰」表彰式



協議会の様子



対話の様子